

埼玉県立小鹿野高等学校 「株式会社小鹿野高校」取組概要

3年次「総合的な学習の時間」を中心に、地域おこし協力隊と連携し生徒が通う小鹿野町を題材にしたフィールドワーク（全2回のべ18か所）で探究活動等を行いPDCAサイクルを経て、プレゼンテーションスキルや、課題解決力の向上、同学年の生徒や地域の方々との関わり方などを身に付ける学習活動に取り組みました。

授業の計画は以下の通りです。

日	授業時間	学習内容
8月28日	2時間	2学期以降の総学の説明、総学委員の紹介、総学委員会から報告、希望調査
9月4日	2時間	各部長より各部の説明、各部の課題設定、各課の今後の活動についての話し合い
9月11日	2時間	各課における問題点の研究
9月17日	1時間	フィールドワーク①に向けた前日準備
9月18日	2時間	フィールドワーク①
9月25日	2時間	フィールドワーク①のまとめ（問題点の解決策について考える①）
10月16日	2時間	問題点の解決策について考える②
10月22日	1時間	問題点の解決策について考える③
10月29日	1時間	フィールドワーク②に向けた前日準備
10月30日	2時間	フィールドワーク②
11月6日	2時間	フィールドワーク②のまとめ（解決策をまとめる①）
11月13日	2時間	解決策をまとめる②
11月19日	1時間	解決策をまとめる③、発表練習①
11月20日	2時間	発表練習②、各部内報告会準備
12月3日	1時間	各部内報告会
12月4日	2時間	学年発表会
12月18日	2時間	全体報告会（会場：小鹿野町文化センター）

事前準備として各クラス（全4クラス）で生徒から見た小鹿野町のもつ魅力について意見を出し合い、クラスでまとめた。事前準備から地域おこし協力隊の2名に来校していただき、生徒の様子を観察しながら、今後の学習内容について教員と情報を共有した。総学委員は小鹿野町の魅力を次の4つに分類し、探究活動の内容を学年集会で報告した。4つの分類は①「ハッピー田舎化大作戦部」②「グルメ部」③「ビジネス部」④「イベント部」で、部と称した。話し合いの中で「小鹿野町の魅力を高めるために4つの部に分かれて活動することが会社のような」という意見から、タイトルを「株式会社小鹿野高校」と称し、総学委員を部長として、学年全体で取り組もうと目標を立てた。生徒は4つの部のいずれかに属し、探究活動を進めた。部の中でさらに活動テーマごとに課を設定した。課内で探究を進めていく中で校内だけでは解決できない問題に取り組むため、2回設定したフィールドワークで校外調査等を行った。どこでどのような内容を調べたいかを地域おこし協力隊の2名に伝え、助言をもらい、生徒が訪問先へ電話連絡をしてアポイントメントをとり学習した。各部で学習が進み、発表に向けてパワーポイント等の作成を行った。中には小鹿野町のステッカーをフォトショップで作成したり、手書きのポップを作成して、JA小鹿野（物産店）に届けた部もあった。

協力した小鹿野町、地域おこし協力隊2名より授業を終えて

フィールドワーク等で小鹿野町にも元気を頂きました。また、高校生への行動力に驚きました。今回の学習を今後の人生にも役立てて様々な活動に積極的に取り組んでほしいと思います。